

目指す学校像	自立をうながし自己実現を具現化する活力ある高等学校 深い生徒理解に基づいた「自己を生かす力」の育成
--------	--

重点目標	1 一人ひとりの学力向上を目指した授業改善の推進 2 仲間を信じチャレンジできる特別活動の推進 3 社会で自己を生かす力を養うキャリア教育の推進 4 地域連携の拡大による学校づくりの推進
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	6名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	<p>●生徒の授業認識(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切感→87% ・満足度→84%</li> <li>・分かり易さ→88%</li> </ul> <p>(生徒アンケート H28.1月実施)</p> <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への集中度の低下について課題がある。85→69%</li> <li>・生徒が理解しやすく、積極的に参加できる授業の実現と基礎学力の定着</li> <li>・学習意欲の高い生徒を伸ばす取り組みを行う。</li> <li>・支援を必要とする生徒に対して担任、教育相談員と共に外部専門機関との連携も含めた組織的な対応を図る。</li> </ul>	授業の工夫・改善と基礎学力の定着	<p>①未来を拓く「学び」プロジェクト事業および近未来学校教育創造プロジェクト - タブレット端末の効果検証-に全校的に取り組む。授業研究の実施と組織化をはかる。</p> <p>②各種検定、資格取得を推進する。</p> <p>③マルチペーシックの充実と意欲の高い生徒に対する補習等をより組織的に企画実施する。</p> <p>④要支援の生徒への支援を継続する。教育相談員の活用をはかる。</p> <p>⑤学習サポーターを積極的、計画的に活用し、学力定着を図る。</p> <p>⑥考査前補習、再考査前補習の実施により欠点保持者減少を図る。</p>	<p>①-i 協調学習の研究拡大とタブレット端末の効果検証の取り組み状況</p> <p>- ii 公開授業の実施、生徒にわかる授業、生徒参加型授業の開発に取り組む状況</p> <p>②検定、資格の受験状況と合格率</p> <p>③-i マルチペーシックにより学力の定着状況</p> <p>- ii 学習意欲の高い生徒への補習実施状況</p> <p>④担任等と教育相談員との連携状況、要支援の生徒への組織的な対応状況、研修会の実施状況</p> <p>⑤学習サポーター活用、実施状況</p> <p>⑥欠点保有者数 5%減</p>	<p>授業の工夫・改善がすすむ。基礎学力の向上が依然として課題である。学力向上委員会を設置した。</p> <p>生徒の授業認識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切感 87%→89%</li> <li>・満足度 84%→88%</li> <li>・分かり易さ 88%→87%</li> <li>・授業への集中度 69%→67%</li> </ul> <p>(生徒アンケート H29.1月実施)</p> <p>①タブレット活用授業を含む公開授業、タブレット研修会実施</p> <p>②協調学習への取り組みが進んだ</p> <p>③学力レベルに変化が見られない</p> <p>④相談件数は増加、相談スキルがアップし担任での対応が済み事例増加</p> <p>⑤学習サポーター 189h</p> <p>⑥欠点保有者 3%増</p>	B	<p>○基礎学力の向上への取り組みを継続する。</p> <p>○授業への集中力維持に課題がある。ユニバーサルデザインをもとに授業の進め方を再確認、工夫する必要がある。</p> <p>○学力向上委員会等での議論や本校の実態を踏まえつつ、新習指導要領のもと、次の教育課程をより良いものとする。</p>
2	<p>●生徒の充実感(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事 →94%</li> <li>・部活動・生徒会 →92%</li> </ul> <p>(生徒アンケート H28.1月実施)</p> <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動参加者の増加</li> <li>・学校行事の一層の活性化</li> <li>・チーム松韻として仲間意識及びチャレンジ精神を醸成する。</li> </ul>	特別活動の充実と部活動の活性化	<p>①生徒が主体のより質の高い学校行事の企画、実施する。生徒の発意や意見を大事に生徒会活動等を活性化しリーダー育成に努める。</p> <p>②スクールマスコットを活用する。</p> <p>③部活動の加入率の向上により学校生活の充実・活性化をはかる。</p> <p>④蓮田松韻賞等の生徒表彰を継続し、自己有用感、活動意欲を高める。</p>	<p>①-i 生徒主体の体育祭、文化祭の実施による学校行事の充実感 2ポイント増(96%)</p> <p>- ii 生徒会や部活動への参加意欲向上 2ポイント増(94%)</p> <p>②マスコット活用状況</p> <p>③部活動加入率の増加 5ポイント増及び大会等への参加状況</p> <p>④蓮田松韻賞表彰状況</p>	<p>特別活動は充実しているが満足度は下がった。部活動が活性化してきた。スローガン幕設置した。</p> <p>①-i 生徒主体の学校行事の充実感 94%→90%</p> <p>- ii 生徒会や部活動への参加意欲 92%→83%</p> <p>②印刷やノベルティにマスコット活用</p> <p>③部活動加入率 63% 活動が充実し大会参加結果に向上が見られる。</p> <p>④蓮田松韻賞・部活等 14件クラス9件授与</p>	A	<p>○生徒主体の学校行事の維持継続、指導法の継承を図る必要がある。</p> <p>○部活動加入率の向上、活動の充実をはかる。</p>
3	<p>●現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マナーの良さ →79%</li> <li>・校則への親和性 →83%</li> </ul> <p>(生徒アンケート H28.1月実施)</p> <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりに社会人として必要なスキルをしっかりと身に付けさせる。</li> <li>・自己実現・進路実現につながるよう、あらゆる教育活動を結集する。</li> </ul>	基本的な生活習慣の確立と進路指導の充実	<p>①キャリア教育及び在り方生き方指導の充実を図る。</p> <p>②他者の人権を尊重する教育を継続、実施する。</p> <p>③深い生徒理解に基づく、生徒指導を実施する。(スマホ利用マナーづくりの更新、挨拶運動の展開、気付かせる身だしなみ指導)</p> <p>④遅刻指導の継続、朝自習等の取り組み、早寝早起き朝ごはんの啓発等により遅刻数減少を図る。</p> <p>⑤交通安全指導に継続的に取り組む。(自転車マナーアップの推進)</p>	<p>①進路決定率の向上</p> <p>②人権教育の実施状況</p> <p>③-i 生徒指導案件発生率前年度比 20%減、整容指導の毎月実施等</p> <p>- ii マナー意識 6ポイント増(85%)</p> <p>④遅刻率の状況(10%減)</p> <p>⑤交通事故昨年比の比較(減少したか)自転車マナーの状況</p>	<p>基本的な生活習慣について向上が見られた。進路指導の充実により今までにない成果が上がった。</p> <p>①進路決定率 75%(2月3日時点)熊本大、東洋大、さいたま高等看護等</p> <p>②人権教育の実施状況 継続して実施することができた。</p> <p>③-i 生徒指導案件 20%減は未達成 整容指導を毎月実施できた。</p> <p>- ii マナー意識 85%→75%</p> <p>④遅刻は全体では増加してしまった。1、2年生の朝自習は効果があった。</p> <p>⑤交通事故増加 特に2学期に増加 自転車マナー外部からの苦情減少</p>	B	<p>○遅刻防止の取り組みを継続する。</p> <p>○効果があつた朝自習を検証し、より効果的に継続する。</p>
4	<p>●現状</p> <p>蓮田マラソン役員参加協力(34名) 蓮田まつりに参加協力(踊 46名、役員 6名) 商工会桜祭り、雅楽谷の森フェスティバルへの参加・蓮田市広報映画協力出演・交通安全キャンペーン参加「無事かえる」マスコット作成及び配布・駅前清掃活動の実施</p> <p>●課題 地域に活力を与えることを願いつつ、多くの機会に地域の行事等へボランティア参加している。生徒自身が自己有用性を自覚し、社会貢献の重要性を学習できる機会となるよう関係機関と連携を図る。</p>	地域行事への参加と関係機関との連携	<p>①地域行事への生徒及び教職員の参加による地域への貢献、協力を実践する。</p> <p>②関係機関との連携による地域における松韻高校理解の推進地域の学校との積極的交流を図る。</p> <p>③地域密着の学校施設開放により地域貢献を推進する。</p> <p>④HPの更新等による情報発信の活性化を図る。</p> <p>⑤PTA・後援会の協力も得ながら教育環境の美化整備に取り組む。</p>	<p>①-i 蓮田マラソン、蓮田まつりへの継続的運営協力、貢献状況</p> <p>- ii 交通安全キャンペーン、蓮田市クリーン作戦等への参加生徒数の増加</p> <p>②出前授業等の異校種交流の実施、PTA見学会の受け入れ等の状況</p> <p>③図書館及び体育施設開放の実施回数</p> <p>④教育活動のHP掲載の更新回数</p> <p>⑤教育環境の整備、充実の状況</p>	<p>地域行事への参加と関係機関との連携が順調であった。</p> <p>「埼玉ふれあい教育賞」受賞</p> <p>①-i 蓮田マラソン協力(5年目) 蓮田まつり(踊連 80人・司会 3人)</p> <p>- ii 交通安全キャンペーン参加</p> <p>②出前授業 3校、PTA見学会 2校</p> <p>③図書館、体育施設開放 55回実施</p> <p>④HP更新平均週 3回 閲覧数 153042(月 15300) ⑤教育環境の整備、充実が図られた。緑と花の学校実現、美しい学校となりつつある。応接室エアコン設置、通学路街灯新設、LED化実施</p>	A	<p>○地域行事への参加については、学校から主体的に働きかけ、重点化やスリム化をはかる必要もある。</p> <p>○校内の美化、教育環境の整備に引き続き取り組む。</p>

学校関係者評価	実施日 平成28年2月8日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>全校朝自習を検討しているとのことで「遅刻減少」「資格・検定取得」の効果を含め、今後の取り組みに期待している。</p> <p>評価シートに生徒の積極的な発信内容を盛り込んでほしい。来年度は「生徒の声」「生徒の動き」「深い学びの瞬間」をぜひ評価指標としてほしい。</p> <p>協調学習などを積極的に実施しているが、生徒の発言の機会を増やす授業内容の改善を期待する。生徒が直接授業に参加しているという実感が高まれば、課題の「集中力」の改善につながると思われる。</p> <p>アクティブラーニングとは生徒が主体となって活動する授業である。教員がアクティブの中心となると生徒が受け身の授業感覚から抜けられない。</p> <p>人権教育は重要である。中でも言葉の重要性は重く認識している。特別活動などで、教師が求める達成基準が高いのでは。</p> <p>交通事故が多いことが気にかかる。一步間違えば命にかかわることなので、しっかりと状況を検証して今後の指導に生かしてほしい。</p> <p>松韻高校の生徒が日頃の教育活動に熱心に取り組む様子は、日頃の姿からもうかがえる。生徒指導のシート評価については「消極的な生徒指導」の項目が中心となっている。もっと生徒のプラスの側面、例えば「部活での声かけ」「日常のあいさつ」などを評価項目の指標に挙げても良いのでは。</p> <p>進路指導で生徒の希望進路の実現は当然であり昨年度比で具体的な「指導体制」「具体的な取り組み内容」を明確にした評価指標が必要と考える。</p> <p>松韻の生徒は、毎年恒例の市内の行事に積極的に参加し活躍されている。ロータリークラブ等、諸団体との交流やイベントの協力など多くの行事に参加していただいて感謝の思い一杯である。</p>